

1-1	名前／職業／身分／国籍を言う (名詞-肯定文) (私は本田／会社員／学生／日本人です。)	
基本文型	<p>N_1はN_2です。</p> <p>N_1=私、彼、彼女、こちら、あの方、その人・・・</p> <p>N_2=名前、職業、身分、国籍</p>	
ポイント	<p>【文型・文法のポイント】</p> <p>* 「N」とは、名詞 (Noun) のこと。</p> <p>1. 名詞は活用がないので、どのテキストでも名詞文 (文末が名詞で終わるもの) から教えることが多い。 (動詞は「食べます」→「食べたい」のように形が変わるが、名詞はその言葉自体の形が変わらないので、学習者が勉強しやすいため、最初に教える文型として取り上げられることが多い。)</p> <p>2. 「N_1はN_2」の形で、N_1についての説明 (紹介など) をすることができる。</p> <p>3. 「は」は助詞。名詞の後ろに付き、文の主題となる。主題とは、話し手、聞き手双方の共通の話題としてとりあげているということ。(今からこのことについて話します、ということ。「は」の前の名詞がテーマで、後ろがその名詞についての説明。)</p> <p>例) 日本は山がたくさんある国です。 = 日本について言うと、山がたくさんある国、ということ です。</p> <p>【教える時のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介、他己紹介の場面で練習する。(「私は」「こちらは／彼女は」など主題を変える) ・あまり「私」を連発しすぎると、自己主張が強い印象を与えるので、通常は「私」を省略することが多い。(最初は文型の習得のために「私」を入れるが、省略形も教える) ・発音が「ha」にならないよう注意が必要。(「watashiha」と発音してしまう間違いが多い) ・第三者の名前には「さん」をつけるが、学習者は自分の名前にも「さん」をつけることがあるので違いをきちんと押さえる。 ・「教師」と「先生」の違いがわかりにくい。 「教師」は、自分の職業をいう場合 (○私は教師です。) 「先生」は、他の人について言う場合 (×私は先生です。 ○彼女は先生です。) 	
例文	<p>＜自己紹介 例文＞</p> <p>1. 私は本田です。 (名前)</p> <p>2. (私は) 会社員です。 (職業)</p> <p>3. (私は) 学生です。 (身分)</p> <p>4. (私は) 日本人です。 (国籍)</p>	<p>＜他己紹介 例文＞</p> <p>1. こちらは佐藤さんです。 (人の名前)</p> <p>2. 佐藤さんは先生です。 (人の職業)</p> <p>3. 彼は部長です。 (人の身分)</p> <p>4. 周さんは中国人です。 (人の国籍)</p>
場面		